



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月6日

上場会社名 スターゼン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8043 URL <https://www.starzen.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 中津濱 健
 問合せ先責任者 (役職名) 経理本部長 (氏名) 相田 邦明 (TEL) 03-3471-5521
 四半期報告書提出予定日 2019年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	86,133	0.5	921	△16.3	1,485	△2.6	1,019	△3.1
2019年3月期第1四半期	85,746	5.9	1,101	△19.1	1,524	△22.1	1,052	△21.7

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 755百万円(△47.0%) 2019年3月期第1四半期 1,426百万円(△5.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	104.71	98.43
2019年3月期第1四半期	110.15	102.01

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	130,682	51,831	39.7
2019年3月期	125,938	52,244	41.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 51,821百万円 2019年3月期 52,238百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	120.00	120.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	120.00	120.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	181,000	4.0	2,200	8.4	3,000	7.8	2,000	8.8	205.35
通期	365,000	3.9	5,100	6.5	6,800	5.9	4,800	5.1	492.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	9,741,191株	2019年3月期	9,741,191株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	1,649株	2019年3月期	1,500株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	9,739,611株	2019年3月期1Q	9,552,073株

- ※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です
※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における食品業界を取り巻く経営環境は、所得環境の改善が続き、景気が緩やかに回復する一方、食品に対する個人消費の慎重さが伺えます。また、本年10月には消費税増税が予定されており、食品消費の先行きについては注視を要する状況にあります。

食肉業界においては、販売競争の激化、人手不足による物流費等の増加が重なり、引き続き厳しい事業環境となりました。

このような状況の中、当社グループは『営業力の再生』をテーマに掲げ、さらなる成長に向けた各種施策に取り組んでおります。具体的には、海外事業強化の一環として三井物産株式会社と中国現地パートナーとの3社合弁による食肉を中心とした食品販売会社の設立を決定いたしました。また、意思決定の迅速化、組織運営の効率化等を目的に、当社を存続会社とした海外調達子会社及びハンバーグの製造子会社の吸収合併を行いました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は86,133百万円(前年同四半期比0.5%増)と増収となりました。一方利益面につきましては、人件費や物流費等の増加により営業利益は921百万円(前年同四半期比16.3%減)、経常利益は1,485百万円(前年同四半期比2.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,019百万円(前年同四半期比3.1%減)と減益となりました。

事業部門別の営業概況は、次のとおりであります。

<食肉関連事業>

食肉関連事業は食肉の販売で減収となったものの、加工食品の販売に注力した結果、売上高は85,455百万円(前年同四半期比0.4%増)となりました。

また、部門別の業績は次のとおりであります。

(食肉)

国内事業は、既存取引先との取り組み強化や販売部門と供給部門の連携を活かした商品提案など、営業力の強化に努めました。しかしながら、余剰在庫の削減等の在庫管理の徹底により、主に輸入牛肉を中心に取扱量が減少した影響で、取扱量、売上高ともに前年同四半期を下回りました。利益面は、中国におけるアフリカ豚コレラの蔓延をきっかけとする輸入豚肉の販売価格の上昇や、在庫管理の徹底が功を奏し、売上総利益で増益となりました。

また、カテゴリー別の業績は次のとおりです。

国産食肉は、消費者の食肉消費量が落ち着きを見せたこともあり、取扱量、売上高ともに前年同四半期比で微増となりました。利益面は、仕入価格が高く推移するとともに、販売競争が激化し利益の取りにくい状況が続き、売上総利益は低迷いたしました。

輸入食肉は、前述のとおり、輸入牛肉の影響が大きく取扱量、売上高ともに前年同四半期を下回りました。一方利益面は、輸入牛肉において前年同四半期の好相場の反動で売上総利益は減益となりましたが、輸入豚肉が好調に推移した結果、全体では売上総利益は伸長いたしました。

輸出事業は、国産牛肉の輸出を中心に前年同四半期比で取扱量、売上高ともに伸長し、三井物産株式会社との協業による台湾向けの輸出も順調に推移いたしました。

これらの結果、食肉部門の売上高は68,562百万円(前年同四半期比0.6%減)となりました。一方、利益面は輸入豚肉の貢献が大きく、売上総利益は伸長いたしました。

(加工食品)

加工食品は、ハンバーグ、スライス商品を中心に積極的な拡販を行った結果、取扱量、売上高ともに前年同四半期を上回り、売上高は13,187百万円(前年同四半期比7.4%増)となったものの、ハンバーグ、ローストビーフで当初計画に比べると取扱量が伸び悩みました。結果として、ハンバーグ新工場等の費用負担を十分に回収できず、利益面は苦戦を強いられました。

(ハム・ソーセージ)

ハム・ソーセージは、販売競争が激化しており、取扱量、売上高ともに苦戦を強いられました。結果として、売上高は前年同四半期を下回り3,186百万円(前年同四半期比5.4%減)となりました。また、利益面は取扱量の伸び悩みと、コストの増加を販売価格に転嫁しきれなかったことが主な要因となり低迷いたしました。

(その他)

その他の取扱品につきましては、売上高は517百万円(前年同四半期比11.2%増)となりました。

<その他の事業>

その他の事業につきましては、売上高は678百万円(前年同四半期比0.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比べて、4,934百万円増加し、83,609百万円となりました。これは、主として商品及び製品や前渡金、受取手形及び売掛金が増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比べて、187百万円減少し、47,054百万円となりました。これは、主として関係会社株式が減少したことによるものであります。

この結果、総資産では、前連結会計年度末に比べて、4,744百万円増加し、130,682百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比べて、7,189百万円増加し、52,902百万円となりました。これは、主として短期借入金が増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比べて、2,031百万円減少し、25,949百万円となりました。これは、主として長期借入金が増加したことによるものであります。

この結果、負債合計では、前連結会計年度末に比べて、5,157百万円増加し、78,851百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比べて、413百万円減少し、51,831百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年5月9日付け公表の「2019年3月期 決算短信」に記載の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,246	9,890
受取手形及び売掛金	34,533	35,335
商品及び製品	23,424	25,688
仕掛品	345	439
原材料及び貯蔵品	1,999	2,307
その他	8,225	10,047
貸倒引当金	△100	△100
流動資産合計	78,674	83,609
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,933	12,897
土地	10,870	10,872
その他（純額）	6,445	6,396
有形固定資産合計	30,249	30,166
無形固定資産		
のれん	345	310
その他	676	699
無形固定資産合計	1,021	1,009
投資その他の資産	15,970	15,878
固定資産合計	47,241	47,054
繰延資産	22	19
資産合計	125,938	130,682

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	17,425	16,579
短期借入金	5,992	12,928
1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債	2,817	2,817
1年内返済予定の長期借入金	7,555	7,350
未払法人税等	881	670
賞与引当金	1,562	869
その他	9,478	11,686
流動負債合計	45,713	52,902
固定負債		
社債	3,100	3,100
長期借入金	19,825	18,025
退職給付に係る負債	1,862	1,867
その他	3,191	2,955
固定負債合計	27,980	25,949
負債合計	73,693	78,851
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,612	11,612
資本剰余金	12,467	12,467
利益剰余金	26,942	26,793
自己株式	△7	△8
株主資本合計	51,015	50,865
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,433	1,192
繰延ヘッジ損益	12	△41
為替換算調整勘定	△202	△172
退職給付に係る調整累計額	△20	△23
その他の包括利益累計額合計	1,223	956
非支配株主持分	6	9
純資産合計	52,244	51,831
負債純資産合計	125,938	130,682

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	85,746	86,133
売上原価	78,200	78,461
売上総利益	7,546	7,671
販売費及び一般管理費	6,444	6,749
営業利益	1,101	921
営業外収益		
受取利息	8	1
受取配当金	54	59
不動産賃貸料	109	110
受取保険金及び配当金	207	214
持分法による投資利益	146	189
その他	78	134
営業外収益合計	605	710
営業外費用		
支払利息	105	75
不動産賃貸費用	36	42
その他	40	29
営業外費用合計	181	147
経常利益	1,524	1,485
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産除却損	6	1
減損損失	0	0
特別損失合計	6	1
税金等調整前四半期純利益	1,518	1,483
法人税、住民税及び事業税	717	690
法人税等調整額	△251	△229
法人税等合計	466	460
四半期純利益	1,052	1,022
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	3
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,052	1,019

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	1,052	1,022
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	214	△232
繰延ヘッジ損益	176	△53
為替換算調整勘定	△45	△3
退職給付に係る調整額	14	1
持分法適用会社に対する持分相当額	14	21
その他の包括利益合計	374	△267
四半期包括利益	1,426	755
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,426	752
非支配株主に係る四半期包括利益	—	3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

当社は、生産肥育から食肉の処理加工、製造、販売に至るまでの事業を主に国内で行う「食肉関連事業」を中心に事業活動を展開しており、報告セグメントは「食肉関連事業」のみであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(連結子会社の吸収合併)

当社は、2019年7月3日開催の取締役会において、2020年4月1日を効力発生日として当社の連結子会社であるスターゼン販売株式会社及び株式会社ゼンチク販売を吸収合併することを決議し、2019年8月6日付で合併契約を締結致しました。

①合併の目的

意思決定の迅速化や管理・事務部門の業務のスリム化など組織運営の効率化を図るとともに、コーポレートガバナンス・コンプライアンス・リスク管理の強化を推進すること目的としております。

②取引の概要

結合当事企業の名称	スターゼン販売株式会社	株式会社ゼンチク販売
結合当事企業の事業内容	食肉・加工食品等の販売、アウトパック業務等	外食・業務用を中心とした食肉・加工品等の販売
企業結合日	2020年4月1日(予定)	
企業結合の法的形式	当社を存続会社、スターゼン販売株式会社を消滅会社とする吸収合併	当社を存続会社、株式会社ゼンチク販売を消滅会社とする吸収合併

③会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2019年1月16日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日)に基づき、共通支配下の取引として会計処理を実施する予定であります。